

文芸書



**冬の狩人**  
大沢 在昌/著  
3年前の未解決殺人事件の重要参考人から、警視庁新宿警察署の佐江が護衛するなら出頭するという連絡が。だが彼は、暴力団員との撃ち合いが原因で休職中。なぜ彼に指名を…?『茨城新聞』『東京スポーツ』ほか掲載を書籍化。

いとまの雪 新説忠臣蔵 上・下 伊集院 静  
処方箋のないクリニック 仙川 環  
神様には負けれない 山本幸久  
観月 麻生 幾  
雪に撃つ 道警・大通警察署 (道警シリーズ 9)

マスク スペイン風邪をめぐる小説集 菊池 寛  
母を捨てるということ おおたわ史絵  
木曜日にはココアを 青山美智子  
相勤者 鳴海 章  
天を測る 今野 敏  
さのよいよい 戌井昭人  
当確師 十二歳の革命 真山 仁  
あずかりやさん 大山淳子  
インビジブル 坂上 泉  
オルタネート 加藤シゲアキ  
明日の食卓 柳月美智子  
しっぽがない 小沼純一  
十津川警部雪と戦う 改版 新装版 西村京太郎  
恋する母たち 金曜ドラマ 柴門ふみ  
太陽はひとりぼっち 鈴木るりか  
雪のなまえ 村山由佳  
境界線 中山七里  
旅する練習 乗代雄介  
草にすわる 白石一文  
ギフト 原田マハ  
約束の猫 村山早紀  
人生讃歌 北国のぬくもり 小檜山博  
鴻上尚史のほがらか人生相談 鴻上尚史  
日曜日は青い蜥蜴 恩田 陸  
僕のコーチはがんの妻 藤井 満  
じきしん いのちの物語 神戸新聞明石総局編

一般書・児童書



考えごとしたい旅  
益田 ミリ/著



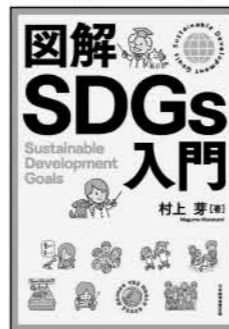
夢を叶えるための勉強法  
鈴木 光/著



MONOQLO安くていいモノ  
theBEST 2020-2021  
晋遊舎



震災と死者  
北原 糸子/著



図解SDGs入門  
村上 芽/著



抱っこしたくなる  
あみぐるみワンコ  
眞藤 美恵子/著



おともだちになってくれる?  
サム・マクブラットニィ/ぶん  
アニタ・ジェラーム/え

上士幌町図書館ブログでも入荷情報をご案内しています。

<https://horonlibrary.blogspot.com/>



かみしほろ  
としよかんたより



上士幌町図書館 生涯学習センター1階 ☎2-4634

◆開館時間 10:00~18:00 貸出制限なし(ただしDVDは3タイトルまで)

◆休館日 毎週月曜日・月末日(最後の平日)・年末年始(12月30日~1月5日)

年度末ふろく引き換えキャンペーン開催!

例年行っている古雑誌市で、ふろくもお渡ししていましたが、今年度は、実施できておりません。そこで、個別に貸し出しの際にふろくの引き換え会という形で行います。

◆期間 令和3年3月2日(木)~3月30日(木)

◆場所 図書館カウンター

◆場所 1日5冊以上の貸し出し(DVD・雑誌を含みます)につき、引換券を1枚お渡しします。【1日上限1枚】引換券5枚で、1回の引き換え会を個別に行います。

※期間内でも、対象ふろくがなくなり次第終了とさせていただきます。

道新特別文化講座エッセー教室

上士幌教室令和3年度受講生募集

日々の思いを600字で綴る楽しみ。ぜひエッセー教室で始めて下さい。初心者の方も大歓迎です。講師が丁寧に指導して下さいます。

◆講師 新宮正久先生(07年帯広市民劇場賞受賞)

※毎月第3水曜日午後2時開始予定です。詳しくは図書館へお問い合わせ下さい。



ようこそおはなしの世界へ

★お話し会

◆日時 3月13日(土) 10:30~

◆内容 お話し会「カッコウ」による絵本の読聞かせ・紙芝居

◆会場 生涯学習センター視聴覚ホール

◆定員 15名(感染症対策のため、人数を制限させていただきます)

◆注意点 マスクの着用をお願いします。体調のすぐれない方は参加をご遠慮ください。

★えほんのトピラ

◆日時 3月27日(土) 10:30~

◆会場 生涯学習センター視聴覚ホール

◆定員 15名(感染症対策のため、人数を制限させていただきます)

◆注意点 マスクの着用をお願いします。体調のすぐれない方は参加をご遠慮ください。

◆その他 定例開催の第3土曜日20日が祝日のため、1週間繰り下げて開催します。



おすすめの1冊

ばあば、93歳。  
暮らしと料理の遺言  
鈴木登紀子・著



この本の著者はNHK「今日の料理」に「ばあば」の愛称で長年に亘り出演され親しまれてきた方です。

去年12月に96歳で逝去されるまで、実に40年以上番組にご出演されてきました。以前は専業主婦をされていましたが、ご近所で料理上手の評判が評判を呼び、自宅で始めた料理教室がきっかけとなり、46歳でテレビ出演が決まったそうです。

その「ばあば」が長生きして分かったこと、つたえ残したい「和の心」など沢山の言葉が綴られています。中でも「分に過ぎない生き方が救ってくれます」という項目がありますが、身の丈に合った以上のもを望むと自分がどんどん追い詰められ苦しくなる。自分の長所短所を知ったうえで今、生きること一生懸命になると人生を楽しむことができると諭してくれます。どの言葉も女性に向けた言葉のように感じますが、男女問わず通じる「ばあば」の想いです。

軽やかに生きるための処世術を教えてください。「ばあば」に感謝したいと思います。